

授業科目の名称	グローバル広報 (科目コード: 206)		
配当年次	1年次・2年次	配当学期	後期
年間開講数	1回	単位数	2単位
必修・選択等の別	選択	授業の方法	講義
授業科目の内容			備考
<p>&lt;講義概要&gt;            グローバル化の進展は、産業、経済、社会、文化、人々のライフスタイルなどに地球的な規模での変化を及ぼした。海外に進出する企業が、現在その社会的責任を果たし、組織の目標を達成するためには、異なる言語や文化、商慣習など状況を把握・分析し、様々なステークホルダーと良好な関係を築き、これを維持・発展させるコミュニケーション、すなわち、グローバルな視点からの広報・パブリック・リレーションズ（以下PRと記す）の実践が欠かせない。本講義は、世界の広報・PRの潮流、理論的な枠組みや企業での実践事例に関する講義を通じて、グローバルな視点に立った広報マネジメントに必要な考え方を学ぶ。本講義では、前半に、海外の主要ビジネススクールで学ばれている広報・PR理論やフレームワークを紹介し、広報実務家としての視野を広げていくことを狙う。後半では、世界各地で様々な企業が展開している、メディア・リレーションズ、社内コミュニケーション、危機管理などの事例を取り上げ、ディスカッションを通して、日本企業のグローバル広報実践上の問題や、その解決へのアプローチを探っていく。</p> <p>&lt;授業方法&gt;            パワーポイントを使った講義、ディスカッション、グループによる課題研究発表など</p> <p>&lt;到達目標&gt;            ビジネスと広報にかかわる世界の潮流を認識し、広報実務家として、海外諸国のメディア事情や情報行動を理解できるようになること。</p> <p>&lt;評価&gt;            レポート試験（締切日を締切とするレポート）25%、毎回の授業への貢献 30%、授業理解度を把握するための小レポート提出 20%、課題についての発表 25%</p> <p>&lt;教科書・参考書&gt;            教科書: Corporate Communication, 7th edition, Argenti, P., McGraw Hill Higher Education, (2015年)            Corporate Responsibility, 1st edition, Argenti, P., SAGE Publications, Inc., (2015年)            Corporate Communication: A Guide to Theory and Practice, 3rd Edition, Cornelissen, J., Sage Publications, (2011年)            『広報・PR概論』日本パブリックリレーションズ協会編、同友館（2010年）            『実践 戦略的社内コミュニケーションー社員に情報をいかに伝えるか』シェル・ホルツ著 林 正監訳、日刊工業新聞社（2005年）            参考書: 『競争戦略としてのグローバルルールー世界市場で勝つ企業の秘訣』、藤井敏彦著、東洋経済新報社（2012年）『デジタル・リーダーシップ』 ポール・アルジェンティ、コートニー・バーンズ共著、北村秀実監訳 日本経済新聞出版社（2010年）            『体系パブリック・リレーションズ』スコット・カットリップ、アラン・センター、グレン・ブルーム共著、日本広報学会監修、井上邦夫、井之上喬、伊吹勇亮、北村秀実、関谷直也、矢野充彦 訳 ビアソソエデュケーション（2008年）ほか</p> <p>&lt;講義スケジュール&gt;            ①イントロダクション: グローバル化と新たな社会の現実、広報・PRの本質とは?            ②広報・PRの歴史の変遷            ③グローバル広報の基礎的概念と理論 (1) -リレーションシップ・マネジメント、戦略的コミュニケーションのためのフレームワークなど            ④グローバル広報の基礎的概念と理論 (2) -役割機能・組織体制、効果測定            ⑤グローバル広報の基礎的概念と理論 (3) -アイデンティティ、イメージ、レピュテーション            ⑥グローバル広報の基礎的概念と理論 (4) -企業の社会的責任            ⑦メディア・リレーションズ (1)            ⑧メディア・リレーションズ (2)            ⑨組織内 (インターナル) コミュニケーション (1)            ⑩組織内 (インターナル) コミュニケーション (2)            ⑪危機管理とクライシス・コミュニケーション (1)            ⑫危機管理とクライシス・コミュニケーション (2)            ⑬ガバメント・リレーションズ            ⑭課題研究発表            ⑮講義の総括とオープンディスカッション</p>			<p>【教員】            北村秀実</p>